



【特集】

技

孫もよろこぶリフォーム

子ども部屋と書斎の設置

● 家族の成長とリフォーム

世帯主が母屋に、若夫婦が車庫の二階の一部を住居にしてもらったO様宅では、この春からお孫さんが小学校に上がるのをきっかけに、リフォームすることになった。

まずは車庫の二階に子供部屋をつくること。お孫さんが友達と遊ぶ居間は寝室を兼ねていたため、都合が悪かったからだ。

またO様は、応接間や座敷など自宅での作業が多かったが、来客が多く、その度に片付けるのが手間になっていた。そのため、応接間はあくまでも来客用にして応接する場所をきちんと確保し、かねてからご希望だった書斎を思い切って改装することにした。

● 日々変化するわが家を見ながら

車庫の二階は、もともと物置として活用されてきたため、一部に若夫婦の部屋があるだけで、あとは間仕切りも天井もないコンクリートの床が大部分を占めていた。ここを子供部屋と寝室に改装した。自分の家がどんどん変わっていく様子をお孫さんは毎日楽しそうに見ていたとのこと。昔の面影はほとんどなくなったが、既存の引き戸が再利用されたことで、昔を懐かしめるようにもなっている。「良くなったね」と近所の奥様から評判だ。

● 和室か洋室か

書斎は母屋にあった物置を改装してできた。仕事に疲れたら直ぐ横になれ



▲車庫二階の玄関。奥に見えるのが子供部屋。



←子供部屋



▲書斎。奥に見えるのが畳の敷かれたベッド。

Before



▲施工前の母屋の物置。

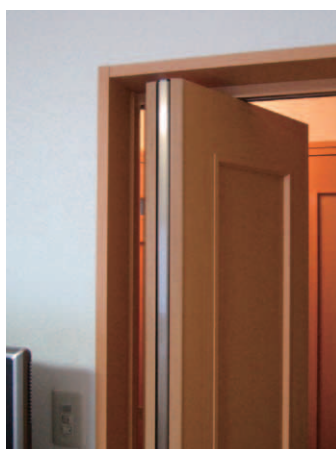
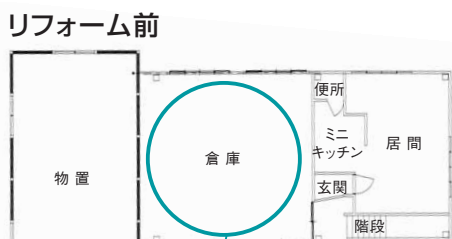
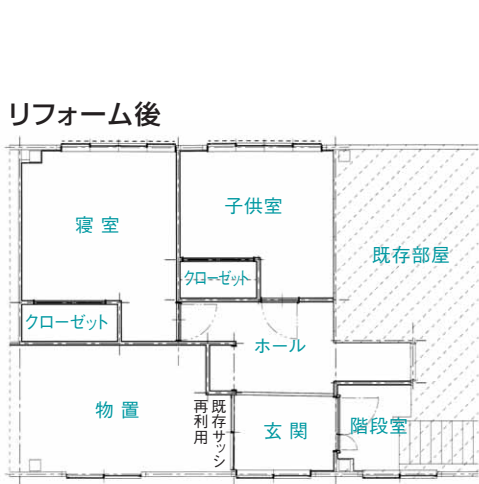
After



▲改装して書斎ができた。

るようにと、当初は寝心地を重視して畳敷きの部屋をご希望だった。しかし、少しの間だけ横になるにも、これから足腰が弱くなったときも「ベッドのほうが楽ですよ。」との担当者からの提案で、フローリングの部屋に畳のベッドが置かれた。「ホテルのフカフカしたベッドは寝心地がいいです。寝起きが凄く楽になりました。」とご主人。

また、引き戸にしたとのこと。要望だったが、スペースの問題で折り戸が用いられている。体の位置を変えずにスムーズに開け閉めでき、「楽に通れます」とのこと。念願の書斎が完成し、O様は満足そうに目を細められた。(技ネット)



▲折り戸

今月のオーナー訪問

「毎日の変化が楽しみでした。」

作業がとてもスムーズで、日々変わっていく様子を孫と一緒に楽しみにしていました。仕事も丁寧で安心できました。

最初は、大雑把なイメージしかお伝えできませんでしたが、それを見事に形にしてくれて満足しています。マイホームを購入される方の気持ちがよく分かりました。ありがとうございます。



▲右の建物が車庫。二階に若夫婦が住んでいる。奥に見えるのが母屋。



技のリフォーム

イワサ ミセマス
0120-183-304